

令和5（2023）年度

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果

○体力・運動能力調査結果の平均値（実技に関する調査）

*体力合計点は、種目別の得点表に基づいて算出した得点を合計したものの

小学校 5年男子	全国	鎌倉市
握力 (Kg)	16.13	16.27
上体起こし (回)	19.00	18.98
長座体前屈 (cm)	33.98	34.24
反復横とび (点)	40.60	37.83
20m シャトルラン (回)	46.92	44.97
50m 走 (秒)	9.48	9.41
立ち幅とび (cm)	151.13	154.30
ソフトボール投げ (m)	20.52	20.57
体力合計点	52.59	52.27

小学校 5年女子	全国	鎌倉市
握力 (Kg)	16.01	15.63
上体起こし (回)	18.05	17.16
長座体前屈 (cm)	38.45	38.17
反復横とび (点)	38.73	34.43
20m シャトルラン (回)	36.80	33.44
50m 走 (秒)	9.71	9.64
立ち幅とび (cm)	144.29	145.78
ソフトボール投げ (m)	13.22	12.68
体力合計点	54.28	52.50

中学校 2年男子	全国	鎌倉市
握力 (Kg)	29.02	28.73
上体起こし (回)	25.82	24.88
長座体前屈 (cm)	44.16	41.88
反復横とび (点)	51.22	50.93
持久走 (秒)	409.02	411.05
20m シャトルラン (回)	78.07	78.86
50m 走 (秒)	8.01	7.83
立ち幅とび (cm)	197.02	198.68
ハンドボール投げ (m)	20.40	22.01
体力合計点	41.32	41.64

中学校 2年女子	全国	鎌倉市
握力 (Kg)	23.15	23.09
上体起こし (回)	21.62	19.25
長座体前屈 (cm)	46.27	43.83
反復横とび (点)	45.65	45.35
持久走 (秒)	306.26	318.59
20m シャトルラン (回)	50.70	46.93
50m 走 (秒)	8.95	8.84
立ち幅とび (cm)	166.34	164.33
ハンドボール投げ (m)	12.43	13.01
体力合計点	47.22	46.20

○運動習慣等調査結果（児童生徒質問紙）

- ・「運動やスポーツが好き」と答えた児童生徒の割合（Q1）

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
鎌倉市	73.1%	56.0%	67.6%	49.3%
全国	72.1%	54.5%	63.4%	43.1%

- ・「運動やスポーツは大切なもの」と答えた児童生徒の割合（Q2）

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
鎌倉市	71.2%	59.3%	68.8%	49.0%
全国	70.3%	55.1%	66.6%	51.1%

- ・「体育（保健体育）の授業が楽しい」と答えた児童生徒の割合（Q9）

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
鎌倉市	72.2%	58.2%	63.1%	46.4%
全国	74.7%	59.0%	53.6%	38.6%

- ・「授業以外で運動やスポーツ（運動部の部活を含む）をする時間」の一週間総計（分）（Q5）

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
鎌倉市	592.0	334.47	1298.2	1105.1
全国	544.6	321.64	1251.8	1137.9

- ・平日の学習以外でのスクリーンタイム（テレビ、ゲーム、スマートフォン等）が「4時間以上」と答えた児童生徒の割合（Q8）

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
鎌倉市	23.7%	20.8%	23.4%	26.8%
全国	28.2%	23.8%	29.7%	28.4%

- ・「朝食は毎日食べる」と答えた児童生徒の割合（Q6）

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
鎌倉市	87.1%	82.6%	82.6%	71.7%
全国	80.8%	79.4%	79.9%	72.7%

- ① 「運動やスポーツが好き」「(保健) 体育の授業が楽しい」と答えた児童生徒が全対象で全国平均を上回った。また、「運動やスポーツは大切なもの」と答えた児童生徒も中学女子を除いて全国平均を上回り、授業を通して運動の楽しさを感じていることがうかがえる。
- ② 「授業以外で運動やスポーツ（運動部の部活を含む）をする時間」において、中学女子を除いて全国平均を大きく上回り、部活動、地域のスポーツクラブや遊びの中で、運動に親しんでいる児童生徒が多くいると言える。
- ③ 中学女子について、平日のスクリーンタイムが「4時間以上」と答えた生徒が他の対象より高いこと、「朝食は毎日食べる」と答えた生徒が他の対象より低いことから、スクリーンタイムの増加により生活リズムが乱れている傾向が見える。